

氷見二上工場

氷見二上工場について

【事業内容】

光学フィルムの製造

1991 年設立。日本ゼオン氷見二上工場は、光学フィルムを製造しています。

【人員数】

2022 年 4 月 1 日人員数：342 名（男性 304 名、女性 38 名）

2021 年度採用実績：15 名（男性 13 名、女性 2 名）



氷見二上工場（氷見地区）



氷見二上工場（二上地区）

製品イメージ



光学フィルムを使った大型テレビ

事業所の方針（工場長より）

氷見二上工場の 2030 年のありたい姿は「次世代型加工工場の構築」です。工程が安定化し、デジタル技術利活用が進み、新製品量産技術が確立され、働きがいが実感できる、かつ環境に優しい工場を目指しております。2022 年度の工場長方針は、「持続可能な「ものづくり」工場への準備と変革に取り組もう！」として、以下の重点課題に取り組んでいます。

【方針】

持続可能な「ものづくり」工場への準備と変革に取り組もう

【重点課題】

1. 安定・安全生産による持続可能なものづくりの実現
2. 環境改善による低炭素社会への貢献



工場長 成瀬 史博

安全への取り組み

【方針】

「安全を全ての中心」とし、生産は「安全・安定操業」に注力、管理は「見える化と業務改革」を進め、安全で快適な職場環境の維持・向上と、品質・コストに優れた工場を確立します。

【具体的な取り組み】

1. 全ての機械・設備の危険性、または有害性を特定し、本質安全化に向けた改善を図る。

2. 全員参加による、安全基本活動および職場自主活動の推進により、職場の活性化と、安全第一とする風土改革を実施し、継続的な安全衛生水準の向上を目指す。
3. 関係する全ての人に適正な教育を行い、安全衛生関係法令および工場規定等を遵守する。

環境負荷削減の取り組み

【方針】

環境事故・異常を撲滅し、安心して働ける職場、信頼される企業にしていくとともに、健全な環境と安心して生活できる生活環境の確保を目指し、次世代に継承することが責務であることを認識し、環境に調和する生産活動を通じて社会貢献し、環境負荷と環境リスクの低減に努めています。

【具体的な取り組み】

1. 環境事故、環境異常の発生「ゼロ」を追求していく。
2. 環境改善を継続的に進める。
3. 環境関連の法令、自ら定めた規定類を遵守する。
4. 省エネを推進するとともに、汚染の防止に努める。
5. 資源のリサイクルを推進し、廃棄物発生量の削減に努める。
6. 環境に配慮した生産技術の推進と、成長戦略の継続的推進。

環境関連データ（「0」は0.5未満、「0.0」は0.05未満を示す）

氷見二上工場		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
PRTR法 対象物質	使用量（トン）	1	2	2	1	1
	排出量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	3,635	1,493	1,176	958	1,228
	減容後発生量（トン）	3,635	1,493	1,176	958	1,228
	埋立処分量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大気排出	CO ₂ 排出量（トン） 省エネ・温対法基準	36,838	34,583	31,940	31,985	29,260
	CO ₂ 排出量（トン） Scope1	382	428	408	385	370
	CO ₂ 排出量（トン） Scope2	36,456	34,155	31,532	31,600	28,891
	CO ₂ 排出量（トン） Scope1+2	36,838	34,583	31,940	31,985	29,261
	SO _x 排出量（トン）	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
	NO _x 排出量（トン）	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
	ばいじん排出量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千m ³ ）		87	95	89	108	121
エネルギー	使用量（原油換算、kL）	14,390	14,841	15,425	15,625	15,524
換算生産量（トン）		150,690	145,829	160,181	179,251	182,680

社員とともに

【方針】

皆で改革・改善をやり続ける風土を大切に、対話を重視した「人材育成」と全社員が活躍できる「働きやすい職場環境づくり」を目指す。

【具体的な取り組み】

1. 入社1～3年目の社員を対象とした基本教育を実施する。
2. 製造課では力量評価を用いた職業レベルの向上を図る。
3. 全社改善活動事例発表会で意見交換しやすい風土をつくる。
4. 女性社員の意見を反映した働きやすい作業環境をつくる。
5. 生産工程を改善し、障がい者雇用の創出につなげる。

地域との共生

市民社会との調和を図り、企業を創造的に発展させていきます。

【具体的な取り組み】

1. 地域美化活動

- ・氷見クリーン大作戦



- ・上田子早朝環境パトロール（ゴミ拾い）



2. 地域の高等学校との交流

高岡工芸高校、伏木高校、北陸職業能力開発大学の工場見学やインターンシップなど、高校生の社会見学や就業体験に協力しています。

3. 自治体への貢献

氷見市芸術文化館への協賛



万葉集朗唱の会への参加

